

動き

長野市陸上競技協会 会報 第38号

発行日 平成24年10月26日
発行所 長野市陸上競技協会
発行人 内山了治
編集人 田島康彦
URL: <http://nriku.jp/>
E-mail: info@nriku.jp

題字：長野市陸協
三代目会長 山浦 保先生

第65回全国高校陸上 400mH 優勝(2連覇) 58秒27 大会新

(長野県新・長野県高校新記録)

瀧澤 彩さん
(長野高校3年)

第28回日本ジュニアも優勝

県内女子競技者で全国インターハイ連覇は、
依田 郁子さん(上田染谷丘高:1956・57 80mH、
東京五輪 80mH 5位) に次いで二人目の快挙

長野高校 瀧澤 彩

新潟高校総体では、目標としてきた連覇、大会記録樹立を達成することができました。冬期はけがに悩まされ、春の大会では記録が低迷し苦しみましたが、先生方をはじめ多くの方々に支えていただき、強い気持ちをもって毎日の練習に励むことができました。その結果、大会当日は自信をもってスタートラインに立つことができ、このことが何よりも大きな勝因であったと思います。これからも感謝の気持ちを大切に頑張っていきます。ありがとうございました。

(写真は表彰式と400mH決勝8台目)



「高校日本一」への道のり

長野高校陸上競技部監督 内山 みのり

昨年の高校総体で優勝してからの1年、けがのために満足に練習ができない日々も多く、また、連覇へのプレッシャーもありつらい日々も多くありましたが、そんななかでも、多くの長野市陸上競技協会の関係者の皆様から温かいお言葉をいただき、焦ることなく、あきらめずに新潟総体に向けて準備をし、最高の結果を残すことができ本当に良かったと思っています。皆様のご支援ご声援に深く感謝いたします。

昨年の優勝は「決勝で走った8名のなかで1位だった選手」という印象でしたが、今年の優勝は「高校日本一」であることを示しての優勝であったと感じております。苦しみを乗り越え、多くの方々に支えられ全てがよい方向へ進むなかで達成できたことでありますが、近くで見ている強い選手へ成長していると思います。まだまだ未熟な面も多くありますが、さらに強い選手へ成長できるように、また、今後も多くの方々に温かく応援していただける選手となるよう見守っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

ロンドンオリンピック特別寄稿

「右代選手のロンドンオリンピック十種競技について」

日本陸上競技連盟強化委員会
混成競技部長

本 田 陽 (中京大学)



今回私は陸上競技日本選手団混成コーチとしてロンドンオリンピックに参加しましたが、48年ぶりに男子十種競技に出場した右代選手のオリンピックでの試合の様子を報告させていただきます。

今回のオリンピック代表は6月2～3日に長野市で開催された混成競技日本選手権で8037点のオリンピックB標準記録で優勝した実績が評価されたものです。悪天候に見舞われた棒高跳まではオリンピックA標準記録である8200点を越すペースで試合を進めていたことも評価されました。「長野からロンドンオリンピックへ」の思いで大会を運営していただいた長野陸協関係者の皆様にはあらためて感謝したいと思います。

オリンピック本番は8万人の観衆が見守る中、今年6月に世界記録を更新(9039点)したアメリカのイトンが8869点で順当勝ちし、右代啓祐は7842点で20位という結果でした。今大会の8位入賞記録が8219点で、右代選手が自己ベスト(8073点)を出していれば11位となる結果であったことなどから、本番で十分に力を発揮していれば入賞や12番以内の可能性もあったため残念でしたが、試合内容に関しては昨年の

☆☆ もくじ ☆☆

➤第65回全国高校400mH優勝... 1	➤ながの中学駅伝結果..... 5
➤ロンドン五輪特別寄稿..... 2	➤富士通陸上競技クリニック... 5
➤全国高校総体・中学大会.... 2	➤Hopeさん..... 6
➤各種全国大会結果..... 3	➤8月～10月大会・会議報告... 6
➤日本陸連栄章受章..... 4	➤市長表敬訪問..... 7
➤ぎふ清流国体結果..... 4	➤各種連絡・編集後記..... 8



試合後優勝したアッシュトン・イトン (USA)と



十種試合終了後 全選手で観衆に挨拶

テグ世界選手権に出場した経験を活かした場面もあり、成長ぶりを見せてくれました。また今回の結果は国外での国際大会における日本人の最高順位及び最高記録となっています。

今大会の目標は自己ベスト記録更新(日本記録更新)、または最低でも8000点台の記録をマークする事でしたが、残念ながらこれらの目標は達成できませんでした。その最大の原因は初日の100mから走幅跳、砲丸投までの最初の流れを作れなかった事でした。今大会の初日は走幅跳、砲丸投に重点を置き、比較的安定している走高跳と今年になって重点的に取り組んでいる400mにつなげるという目標設定でしたが、走幅跳、砲丸投共に期待した記録を残せず、さらに走高跳、400mでも挽回することなく初日が終了してしまいました。その原因としては、スプリント力の向上に伴って走幅跳の助走がこれまでの助走とは変わったにもかかわらず、それに対する技術練習が不足していたことと、砲丸投に関しては1投目にテンションを上げて集中した投てきができなかったことにあると思われます。

2日目の円盤投以降はテグ世界選手権での経験を生かし、落ち着いた中でも勝負所ではテンションを上げていくという試合運びができ、特に棒高跳では国際大会で初めて観衆の声援を自己のパフォーマンスに活かす事ができたのは大きく成長した証拠です。

20位という結果には満足するべきではありませんが、右代選手には今回の経験を最大限に活かし4年後のリオデジャネイロオリンピックを最大の目標とし、まずは来年の世界選手権での活躍に向けて頑張ってもらいたいと思います。

最後になりましたが、今大会特に印象に残ったのはイギリスの観衆の陸上競技に対する関心の高さです。午前中の競技がすべて終了し、夕方の競技開始まで十種競技しか行われていない際にもほとんどの観衆が競技場に残り、選手たちに声援を送りながら自分たち自身も楽しんでいる光景には、スポーツ文化の違いを感じました。選手と観衆が一体となってスポーツを楽しむ競技会を今後長野での混成日本選手権で実現できるように関係者皆様のご協力をお願いしたいと思います。

2012 北信越かがやき総体報告

平成24年度 全国高等学校総合体育大会
秋父宮賜杯 第65回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

長野市陸協普及強化部長 藤森 要 (長野吉田高校教員)

去る7月29日～8月2日、2012北信越かがやき総体が新潟県の東北電力ビッグスワンスタジアムで開催されました。長野市内高校の選手も連日の猛暑の中、暑さ対策、体調管理に気を遣いながら、それぞれの目標に向かって力一杯競技に臨んでいました。

この大会で長野県選手は4名(5種目)が入賞を果たしました。市内高校関係では、瀧澤彩さん(長野3年)が初日の女子400mにおいて予選で県高校タイ記録を出し、決勝で8位入賞を果たしました。そして、その勢いに乗ったまま女子400mHでは、決勝において大会新記録、県・県高校新記録を樹立し、昨年に続き2連覇を達成しました。連覇というプレッシャーがかかる中で、落ち着いて予選から決勝まで自分の力を発揮した瀧澤さんのメンタル面の強さを感じると共に、他を寄せ付けぬ気迫のこもった走りは、長野県関係者に大きな喜びと感動を与えてくれました。同じ女子400mHでは、内山成実さん(長野吉田2年)が決勝で自己記録を更新して6位入賞を果たしました。来年の北九州総体では瀧澤さんに続き、優勝争いを期待したいと思います。

また、女子4×400mRでは、長野高校が見事なチームワークを発揮して、予選で県・県高校新記録を樹立して準決勝進出を果たしました。

このように選手が好結果を残せたのも、長野市陸協をはじめ、関係する方々のご支援、ご声援のお陰だと感謝申し上げます。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

東日本大震災復興支援「とどけようスポーツの力を東北へ！」

平成24年度 全国中学校体育大会
第39回全日本中学校陸上競技選手権大会 結果報告

長野市陸協普及強化副部長 木村 雅樹 (川中島中学校教員)

8月20日から千葉県で行われた全国中学校体育大会に、長野市からは3名の選手(犀陵中学校・松橋大夢くん、篠ノ井西中学校・内田光一くん、川中島中学校・小林希良莉さん)が出場しました。大会結果は以下の通りです。

- 松橋 大夢 200m：予選 23"29(-1.0) 組7着
- 100m：予選 11"58(-3.9) 組3着、準決勝 11"24(-0.1)組4着
- 内田 光一 400m：予選 52"51 組7着
- 小林希良莉 1500m：予選 4'37"75 組6着

力を出し切れた者、そうでない者もいましたが、全国の舞台上で競技できたことは選手たちにとって大きな財産になると思います。ご声援、ありがとうございました。

全中参加者の報告

川中島中学校 小林 希良莉

私は、女子共通1500mに出場させて頂きました。トラックレースでの全国出場というのは、私が昨年からずっと目標にできていたことでした。そんな目標としていた全国という舞台上で走れたことは、自分にとって一番の自信となりました。今回、ベスト更新・決勝進出を目標にレースに臨みました。

スタートで少し出遅れてしまいましたが、2周目から自分のリズムで粘り強く走ることができました。タイムは、自己ベスト更新には届きませんでしたが、セカンドベストの4分37秒75で、組6位という結果でした。決勝まであと2秒と、悔しい思いもありますが、まずは自分が全国大会で走れ



左から小林さん、松橋君、内田君



女子1500m予選 左から2番目No.6が小林さん

たことに感謝をして、自分一人でやってできたことではないということをもう一度確認していきたいと思います。

今回の大会で、自分への課題を毎日の練習へいかしていき、次はチーム全員で全中駅伝出場という目標に向かってがんばっていききたいと思います。

犀陵中学校 松橋 大夢

8月20日から22日まで千葉で全校中学校体育大会が行われました。僕は100mと200mに出場させて頂きました。全国の舞台だけあって雰囲気は全く違い、圧倒されそうでした。

初日の200mでは、苦手だけあって全然気持ちが入っていない状態でレースに臨んでしまいました。結果は予選で敗退してしまい、悔しい気持ちと申し訳ない気持ちでした。

2日目の100m予選では、アップから体が動いていました。得意のスタートで少し出遅れましたが何とか立て直し、準決勝に進むことができました。3日目の100m準決勝では、気合いも入りスタートもうまくいきましたが、後半で抜かれて4位で終わってしまいました。

アップでずっと付き添ってくれた顧問の先生や応援して下さいました先生方、指導して下さいましたコーチには、本当に申

し訳ないという気持ちでいっぱいでした。

全中に出場して、僕はとてもつらい3日間で、とても多くのことを学べた3日間でもありました。もし10月のジュニアオリンピックに出場させて頂ければ、学んだことをいかし絶対にリベンジをし、良い結果を残せるようがんばりたいです。

篠ノ井西中学校 内田 光一

僕は今回、全日本中学校陸上競技選手権大会で400mに出場してきました。レース当日は緊張でずくんでしまった足を何とか奮い立たせ競技場へ向かいました。そしてアップを一通りすませると招集へ行きました。アップの最中にはいろいろな思いが入り交じって頭が真っ白でしたが、招集に行く前に先生が言ってくれた「楽しんで走ってこい」という言葉に勇気もらい、このレースをとにかく楽しもうと決意することができました。

招集が終わり、そしてスタートラインに立つまで時間があっという間に過ぎていきました。緊張で心臓が暴れ狂ったように波打っていましたが、ピストルの合図と共に飛び出した僕は、すべてが吹っ切れて無我夢中でゴールを目指して走りました。

結果はベストも出せず、予選で落ちてしまいましたが、この舞台で走ることができて最高に楽しかったです。今まで支えてくれた友達、先生、家族のすべての人たちに感謝したいです。今まで本当にありがとうございました。

平成24年度 全国高等学校総合体育大会

7月29日～8月2日 東北電力ビッグスワンスタジアム

氏名	学校名	学年	出場種目	結果
中野 直哉	長野吉田	3	400mH	予1着 53"59 準4着 52"99
			4×400mR	予8着 3'22"85
			宮之本 航3・宮川 将輝3・大許 紘生3・増田 勇輝2	
上野 正輝	長野日大	3	棒高跳	予 記録なし
宮林 凌汰	長野工業	3	棒高跳	予 記録なし
野崎 隼冬	長野工業	3	砲丸投	予12m77
			円盤投	予35m00
瀧澤 彩	長野	3	400m	8位 56"56
			予1着 55"42(県高校タイ)	
			準2着 55"83	
			400mH	1位 58"27 (大会新、長野県・県高校新)
内山 成実	長野吉田	2	400m	予4着 56"75
			400mH	6位 1'00"36
				予1着 1'01"34 準1着 1'00"97
木田 真美子	長野吉田	3	800m	予3着 2'10"79 準5着 2'11"25
細田 あい	長野東	2	1500m	予14着 4'43"41
			4×400mR	予4着 3'49"98 準7着 3'53"52
				3'49"98は長野県・県高校新
前島 早瑛3・山田 聡子3・新井 美貴子3・瀧澤 彩3				

第28回 全国小学生陸上競技交流大会

(出場者1名) 8月24日～8月25日 神奈川・日産スタジアム

氏名	所属	出場種目	結果
田中 圭	川中島JRC	5年男子 100m	予7着 14秒28(+0.7)

第47回 全国高等専門学校体育大会陸上競技

8月25日～8月26日 鳥取コカコーラ・ウェストスポーツパーク

長野高専入賞者 【男子総合 6位 25.5点】

氏名	学年	種目	順位	結果
山本 龍一	5	200m	6位	22秒13(+0.9)
山本 龍一	5	400m	3位	50秒06
北原 悠	2	1500m	5位	4分10秒61
島田 康陽	5	5000m	6位	16分08秒83
北原 悠	2	5000m	7位	16分09秒67
		4×400mR	8位	3分33秒71
		塩原 巧巳1・滝沢 雄貴3・岩崎 晴也3・山本 龍一5		
		4×400mR	予4着3分24秒45	
		長谷川 将己3・岩崎 晴也3・櫻井 壮一2・山本 龍一5		
岩崎 晴也	3	走高跳	3位	1m88
村田 貴大	3	走高跳	8位	1m85
吉原 沙季	5	100m	8位	13秒69(+0.9)
水島 歌織	3	100mH	4位	18秒75(+2.2)
		女子4×100mR	4位	55秒60
		水島 歌織3・日極 りな2・大橋 里緒3・吉原 沙季5		
水島 歌織	3	走幅跳	6位	4m68(+0.2)



左から内山先生、浦野先生、木下先生

日本陸連栄章 おめでとうございます

秩父宮章 浦野 義忠 副会長 高校生優秀指導者章 内山 了治 理事長



日本陸連懇親会 左から杉崎県総務委員長、細田県理事長、風間日本陸連事務局長、伊藤県副会長、河野日本陸連会長、浦野副会長、尾懸日本陸連専務理事、内山理事長

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」において、浦野義忠先生(市陸協副会長・長野吉田高校教員)が、永年にわたり陸上競技の発展に寄与されたご功績により「秩父宮章」を、内山了治先生(市陸協理事長・長野高専教授)が、H19年度に日本ジュニア等で上位入賞する選手を育成した功績で「高校生優秀指導者章」をそれぞれ受章されました。なお、「中学生優秀指導者章」は木下純市先生(伊那東部中教諭)が受章されました。

少年男子 A 400m 中野(長野吉田高3) 3位入賞

東日本大震災復興支援 第67回国民体育大会 陸上競技会
期日 平成24年10月5日～9日
会場 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

第67回ぎふ清流国体には、長野市関係者は玉城監督はじめ指導者6名、高校生3名、中学生1名、そして長野市出身大学生2名が参加した。結果は下記のとおりであるが、長野吉田高校3年の中野君が、昨年の400mH3位入賞に続き、今年も400mで見事3位に入賞し、故障で無念に終わった全国高校総体の雪辱を果たした。



少年男子400m表彰 左から3番目 No.17 が3位入賞中野君

- 少年男子 A 400m 中野 直哉(長野吉田高3)
3位 47秒55
予選3着48秒21、準決4着48秒21
- 少年女子 A 400m 瀧澤 彩(長野高3) 予4着56秒87
- 少年男子 B 200m 松橋 大夢(犀陵中3) 予6着 23.51(-0.3)
- 少年女子 A 3000m 湯澤 ほのか(長野東高3) 10位 9:19.43
- 成年男子 110mH 早川 恭平(早大3・長野吉田高出身)
予8着 14秒35(-1.1)
- 成年女子 10000mW 大和 千秋(中部学院大4・長野市出身)
11位 49:26.65
- 男子 4×100mR 予2着 40秒46、準決3着 40秒35 落選
松橋 大夢(犀陵中3)
原 翔太(上武大2)
長谷川 寛(松本深志高2)
塚原 直貴(富士通)



【長野県選手団】

- | | | |
|--------|-------|------------|
| 監督 | 玉城 良二 | 長野東高校教員 |
| 短距離コーチ | 中津 敦喜 | 篠ノ井高校教員 |
| 障害コーチ | 藤森 要 | 長野吉田高校教員 |
| 跳躍コーチ | 下條 正紀 | 北部高校教員 |
| 投擲コーチ | 戸谷 直喜 | 文化学園長野高校教員 |
| 投擲コーチ | 山本 晴美 | 南長野運動公園 |

◆少年女子 A 3000m の激戦◆

- 1位 メリー ワイディラ 宮城 仙台育英高 8分48秒16
大会新
- 2位 ローズメリー ワンジル 青森 青森山田高 9分6秒99
- 3位 矢野 葉理 福岡 北九州市立高 9分12秒91
- 4位 出水田 眞紀 神奈川 白鵬女高 9分13秒30
- 5位 矢本 桜子 岡山 興譲館高 9分13秒34
- 6位 前川 祐紀 鳥取中央育英高 9分13秒38
- 7位 上原 美幸 鹿児島女高 9分13秒47
- 8位 菅野 七虹 京都・立命館宇治高 9分15秒12
- 9位 加藤 千尋 群馬・常磐高 9分18秒34
- 10位 湯澤 ほのか 長野東高 9分19秒43
(長野県・長野県高校記録は、9分16秒29、石原さつきさん H3年)

2012 ながの中学駅伝 10/13 南長野 川中島中学校アベック優勝



女子の部	学校名	記録
第1位	長野市立川中島中学校	0:48:40
第2位	駒ヶ根市立東中学校	0:51:26
第3位	松本市立菅野中学校	0:52:28
第4位	千曲市立戸倉上山田中学校	0:53:17
第5位	長野市立更北中学校	0:54:03
第6位	長野市立広徳中学校	0:54:26
第7位	組合立鉢盛中学校	0:55:01
第8位	信濃町立信濃中学校	0:55:22

男子の部	学校名	記録
第1位	長野市立川中島中学校	0:57:49
第2位	駒ヶ根市立東中学校	0:58:02
第3位	信濃町立信濃中学校 A	0:59:53
第4位	上田市立丸子中学校	1:00:04
第5位	中野市立中野平中学校 A	1:00:07
第6位	長野市立広徳中学校	1:01:01
第7位	駒ヶ根市立赤穂中学校	1:01:01
第8位	長野市立櫻ヶ岡中学校	1:01:38

女子区間賞	学校名	氏名	記録	備考
第1区(2.40km)	千曲市立戸倉上山田中学校	千野 恵美	8:12	
第2区(2.05km)	長野市立川中島中学校	和田 有菜	6:31	区間新
第3区(3.10km)	長野市立川中島中学校	小林 希良莉	10:03	
第4区(3.00km)	長野市立川中島中学校	中村 智美	10:02	
第5区(2.00km)	長野市立川中島中学校	滝沢 菜絵	6:48	
第6区(2.00km)	長野市立川中島中学校	新原 徳子	6:58	

男子区間賞	学校名	氏名	記録	備考
第1区(3.30km)	中野市立中野平中学校 A	門脇 航	10:00	
第2区(2.85km)	長野市立川中島中学校	小林 海仁	8:42	区間新
第3区(3.10km)	駒ヶ根市立赤穂中学校	宮下 晴貴	9:24	
第4区(3.00km)	駒ヶ根市立赤穂中学校	大澤 智樹	9:09	
第5区(3.00km)	長野市立川中島中学校	丸山 幸輝	9:46	
第6区(3.00km)	駒ヶ根市立東中学校	馬場 隆夫	9:45	

最優秀選手 女子 和田 有菜 (川中島中)
川中島中学女子は2連覇

最優秀選手 男子 門脇 航 (中野平中)

寄稿 富士通長野工場陸上競技クリニック

富士通長野工場 総務部 河内 美代子

7月28日(土)、長野市運動公園陸上競技場において、富士通陸上競技部の、岩水嘉孝選手、井野洋選手、高橋健一長距離コーチによる、「富士通陸上競技部長距離クリニック」を開催しました。

長野市陸上競技協会からのご後援も受け、参加者の技術講習会も兼ねた本クリニックは、今年で3年目となります。

当日は、長野市内の中学校から陸上競技部員約60名が集まり、ウォーミングアップ、サーキットトレーニング、60秒間走等、午前中の約2時間、軽快なBGMが流れる競技場で、選手のあとについて指導を受けました。

60秒間走では、二人一組となり、一人がもう一人の距離を計測することで、互いが刺激合い、励まし合うことができました。また、選手も普段の練習のメニューとして用いているサーキットトレーニングは、持久性・調整力・瞬発力・柔軟性等の向上を総合的に図り、高いスピードの維持や変化に



適した動きの習得を目指すということで参加者も大変興味深く練習を行っていました。選手達への質問コーナーでは、モチベーションが下がった時にどうしたらいいかという精神面についての質問に対し、的確なアドバイスをしてもらうことができました。最後に選手のサイン会も行い、大変盛り上がったクリニックとなりました。

暑い時期でのクリニック開催で、参加者の体調が心配でしたが、無事に終了することができて良かったです。



第29回 Hope さん



長野高等学校
小林 真帆 さん

高校に入学した頃は、一人で走る事が多く、練習が良かったです。しかし、今年は男子につけるようになり、少しずつ自分を追いこめるようになりました。そして今、来年のインターハイに出場するという目標ができました。長野高校陸上クラスの活動目標は「陸上競技を通して選手として人として強くなる。」です。この目標が実現できるように日々努力していきたいです。私を支えてくれる先生方、家族、仲間感謝を忘れずに頑張ります。

北信越高校新人 1500m 優勝 4分37秒36

長野市立長野高等高等学校
井口 華穂 さん



目標
私の今年度の目標は、インターハイ出場でしたが、北信越大会9位と力を出し切れず、悔しい思いをしました。この夏、新潟で行われたインターハイを見に行き、全国のレベルの高さを知り、来年こそはこの舞台に立ちたいと強く思いました。

そして日々練習に励み、やり投げに生かすために、七種競技に挑戦したりしました。

自分の可能性を最大限に発揮するためにも、支えて下さる多くの方々に感謝の気持ちを忘れずに一日一日を大切にしていきたいと思っています。

北信越高校新人 やり投 2位 42m60

8月～10月までの長野市陸協関係のおもな大会・会議報告

第28回日本ジュニア陸上競技選手権大会

2012年10月19日(金)～21日(日)

名古屋市瑞穂公園陸上競技場

瀧澤 彩 長野3 400m 3位 57.29 予1着 56.68

大日方 紗愛 文化学長野3 三段跳 7位 11.32(+0.7)

中野 直哉 長野吉田3 400mH 予5着 55.19

北田 芽衣	長野日大2	800m	4位 2:18.88
小林 真帆	長野2	1500m	1位 4:37:36
北林 由里	長野東2	3000m	1位 9:45.86
小山 綾菜	長野吉田1	100mH	7位 15.19
小山 綾菜	長野吉田1	400mH	3位 1:04.77
風間 春香	市立長野2	400mH	6位 1:05.93
川島 未佐貴	更級農業2	5000mW	7位 28:08.77
黒岩 美伶	長野2	円盤投	6位 32.64
井口 華穂	市立長野2	やり投	2位 42.60
羽鳥 萌子	長野東1	やり投	5位 38.11
長野吉田		4×100mR	8位 50.75
花岡 里咲1	小山 綾菜1	鈴木 千穂2	黒岩 夏都妃1
長野吉田		4×400mR	7位 4:09.00
小山 綾菜1	村上 りさ子2	鈴木 千穂2	花岡 里咲1

第6回日本ユース陸上競技選手権大会

2012年10月19日(金)～21日(日)

名古屋市瑞穂公園陸上競技場

内山 成実 長野吉田2 400mH 2位 1:00.29

依田 菜月 文化学長野1 ハマ投4kg 記録無し

★長野東高 湯沢さんが 長野県記録更新

2012年10月13日(土) 第4回 静岡県長距離強化記録会

小笠山総合運動公園静岡スタジアム(エコパ)

湯澤 ほのか 長野東3 5000m 3位 15分44秒17(長野県・長野県高校新) 従来の記録は、15分52秒08 長野東高 小田切亜希 H20

★北信越高校新人 市内関係選手 入賞者

2012年10月20日(土)～21日(日)

富山県総合運動公園陸上競技場

【男子】

碓井 涼太	長野日大1	800m	5位 2:00.02
水梨 百哉	長野日大2	800m	7位 2:01.85
水梨 百哉	長野日大2	1500m	6位 4:04.42
山田 祐也	長野東2	5000m	3位 15:22.83
金児 夏希	長野日大2	3000mSC	1位 9:32.35
北原 悠	長野高専2	3000mSC	2位 9:34.53
芋川 駿	長野吉田1	走高跳	2位 1.95
岡村 也寸志	長野高専2	円盤投	8位 33.17
飯森 大貴	長野ろう1	やり投	8位 50.27
篠ノ井		4×100mR	5位 43.30
清野 涼介1	宮下 仁志2	村山 彰太2	宮林 紘汰1
篠ノ井		4×400mR	5位 3:25.73
宮下 仁志2	清野 涼介1	矢嶋 一樹1	北村 健太2

【女子】

村上 りさ子	長野吉田2	400m	5位 59.91
村上 りさ子	長野吉田2	800m	2位 2:17.40

平成24年度 長野市陸上競技協会 第2回理事会開催

日時：平成24年8月19日(日) 16:20～17:30

場所：長野市営陸上競技場会議室

【会議次第】 出席者 28名/50(欠席連絡なし：7名)

報告事項

- 長野陸協協議員会について(藤本副会長、村田総務部長、資料回覧)
藤本副会長から7/7開催の協議員会について報告があった。評議員会の資料は7/2市陸協理事会で提出されているので参照のこと。県陸協役員について杉崎さんが総務委員長を兼ね、経理委員長は人選中であること、日本陸連評議員会の報告として日本選手権混成大会のお礼と、3年継続して開催することなどが報告された。
- 高校総体壮行会および結果について(7/16日実施)
- シニア教室指導者について(土川シニア部長からの依頼)
指導者の要請：期日 9/25、10/2、10(水)、16、23、30、11/6、13、

20、27 (以上、計 10 回 10 時～12 時) 理事長から、土川シニア部長が、後期の指導が困難であるため、都合のつく方の協力依頼があった。

(4) その他(資料回覧)

- 1) 第 49 回高社山 1 周駅伝大会出場依頼(締切 8/31、大会日 9/17)
- 2) 2020 東京オリンピック招致に関する「支援決議」：市体育協会
- 3) 強化指定選手支援事業：市体協

アクアウィングのジム(ウェイトトレーニング)などへは「強化指定選手・指導者証」では入場できない。指定強化選手・指導者に、施設使用方法等についての情報を正しく伝えてほしい。との要請があった。長野市陸協ホームページにも掲載した。

協議事項：すべて原案どおり承認された。

第 1 号議案 浦野先生秩父宮章祝賀会発起人について

審判部長 西内 勉先生を追加する。

第 2 号議案 市陸協役員の交代について

経理部長を村田修一総務部長が兼務する。

第 3 号議案：H24 年度 長野市陸協一般会計補正予算案

第 4 号議案：H24 年度 長野陸協栄章候補者の推薦案

第 5 号議案：市営陸上競技場の投てき練習について、次ページ参照

第 6 号議案：市営陸上競技場の改修要望書の提出について

第 96 回 日本選手権(混成競技)日本陸連との反省会

2012/09/21 17:00-18:30 於：ホテルメルパルク

出席者 16 名 JAAF 本田混成競技部長、JAAF 風間事務局長、JAAF 平野事務局長、長野陸協：伊藤、細田、浦野、藤森、寺島、杉崎、内堀、葛城、中村、玉城、戸谷、長田、村田、内山

- ・伊藤委員長挨拶
- ・本田混成競技部長挨拶
- ・風間局長挨拶：H25 年日本選手権混成競技日程が理事会で承認された。強化委員長が原田氏に交替した。

【議事内容抜粋】

1. 準備段階について P3 に沿って、内山副実行委員長が説明と質問。
 - ・エントリーについては、選手を極力多くすると言う趣旨から、各地区インカレ結果を待ち、ここまで含める。エントリーを 2 段階に分離することは様々な混乱を生ずるので回避する。今年度どおりとする。
 - ・大会看板等への五輪関連用語の使用について：JOC スポンサー保護の観点から、「4 年に一度」という文言も制限される場合もあり、その都度 JOC に伺いを立て許可を得ることを今後も継続する(平野)。
 - ・長野陸協 WEB の Up タイミングについて：JAAF 承認直後で構わない。JAAF_WEB への混成競技バナー等を入れて欲しい。長野陸協でも特設ページを準備したい(担当 葛城)。
 - ・長野市と設備面の交渉はしているが 1000-1500Lx の照明灯は一基 2 億程度必要となり H25 は困難な見通し。逆走は 1600 万(写真判定関連も必要)、引き続き要望していく。

2. 競技運営について

- ・スタッフとラインを分け、準備を進め、当日も運営に当たりたい。
- ・JTO との関連を明確にわかりやすくして欲しい。
- ・基本的には今後も、長野陸協の方針でお願いしたい。JTO は「日本選手権の権威」を尊重しタイムテーブルどおり進めたい意向を持っている。強化部と JTO の立場の違いもあり、このあたりの事情も明確にし、阿吽の呼吸で行う必要があった。今後は、事前の打ち合わせを重視し共通理解を得る(本田)。
- ・走幅跳ピット変更について、迷いもあったが直前で思い切って変えた。TV 中継の場合は時間どおり行わなければいけないとのことだったが、今回は大会運営の趣旨のとおり記録を優先した。
- ・走幅跳 30 分遅れたが、砲丸投 2 ピットで解消できた。
- ・風によりピット変える場合のルールを明確にする。明文化はされていないが、単に風向きが変わっただけでの変更は、基本的に認められていない(風間)。
- ・棒高跳のピットについて：意見交換の結果、1 ピット 8-10 名で競技ができるように準備する。8 名未満であると、試技の間隔が短くなり

競技者に負担がかかるため、1 ピットとする。

・控室について：世界大会は選手一人に ID2 枚(選手の他に 2 枚)、インカレは選手のみ、今回は JTO とすりあわせはしていないが、選手のマッサージ等が拒否される理由が見つからない(本田)。

次回は、規制をどうするか今後具体化する。

- ・地元枠の拡大は可能か?
- ・人数の枠の中であれば可能である(本田)、参加資格に明記するなど参加人数の制限の中で明確にするとともに、日本選手権の制限を厳しくしている中で、地元枠って何? と逆行することは避けたい(風間)。
- ・オープン枠の設定やその範囲を明確にする、また、ジュニアは大勢参加してほしい(本田)。
- ・レザルト印刷配付の可否について(本田)：今回も 2 日目朝、1 日目の結果一覧を 500 枚印刷し配付を試みたが、あまり需要がなく半分以上は余った、置く場所が悪く PR も足りなかったと思われる(内山)。
- ・ナンバーカードの工夫(風間)：前面に氏名、順位はワンポイントなど工夫したらどうか(内山)。
- ・大会要項：標準記録決定が 11 月末なので、できるだけ早くしたい、競技日程の変更はない(風間)。
- ・サブイベント：混成競技への運営配慮には感謝するが、盛り上がりには観客が必要である。十種をみて応援してほしい(ロンドンでは 8 万人の右代コールがあった)、基本的には今年の規模で OK(本田)。
- ・長野市営陸上競技場の施設充実については、日本陸連からの文書(H25 年度の開催依頼)をもとに、引き続き陳情をしていく。

細田理事長 閉会の挨拶

<日本選手権混成競技大会の反省については多くの皆様からご意見を頂き感謝申し上げます。来年度の大会に向けて、資料としてまとめましたので、必要な方は理事長内山までお申し付け下さい。>

長野市営陸上競技場の改修に関する陳情

8 月 20 日(13:30-14:40)に、下記の役員で、長野市役所教育委員会体育課長を訪れ、市長宛の陳情を行った。直ちに要望を満たすことは困難であるが、これまで陸上競技場には大きな予算を掛け改修していないことなどから、今後年次計画等を作り計画的に進めていきたい。今年度予算で可能なことは小林係長と理事長が協議して進めていく、という力強いお話を頂きました。

陳情者

長野陸協副会長	伊藤 利博 (北信地区陸協会長)
同副理事長	浦野 義忠 (北信地区陸協理事長)
長野市陸協会長	寺島 大士
同理事長	内山 了治
同総務部長	村田 修一
施設用器具部長	中村 勝彦

長野市営陸上競技場における投てき練習の安全確保に関する申し合わせについて【P8 に掲載】

北信高校新人顧問会(9/14)の折に、理事会・体育課で決定した標記内容の徹底を各校顧問にお願いした。中学校には、長田中体連専門委員長から伝達してもらうことになった。内容は下記のとおりである。

記

本年 7 月に広島県福山市の平成国際大学陸上競技場において、学生が投げたやりが、60m ほど先にいた女子高校生の頭部に突き刺さるとい痛ましい事故が発生しました。

長野市営陸上競技場においても同様な事故発生が危惧されます。過去にも競技者の脚にやりが刺さる事故があり、北信地区・長野市陸協と致しましても、安全を確保し事故が発生しないよう、一層の注意と努力が必要かと思われます。そこで、この度、これまでの経緯を踏まえ、市営陸上競技場のメイン競技場フィールド、補助競技場および投てき練習場における安全対策について、市営陸上競技場の設置者である長野市(教育委員会体育課)および指定管理者であるシンコースポーツ株式会社と協議し、下記のとおり「投てき練習に関する申し合わせ」を取りまとめましたので、ご理解ご協力およびご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

安全に使用できますよう、皆様のご指導をお願い申し上げます。

第43回 ジュニアオリンピック競技大会出場選手が市長表敬訪問 (10/11)

大会期日：2012年10月26日(金)～10月28日(日) 会場：日産スタジアム(神奈川)

標記大会に長野市の中学生13名、コーチ2名(長野県選手団は選手32名で、長野市中学生が1/3以上を占める)が出場することになりました。市長から出場のお祝いと力強い激励のお言葉を頂きました。ご健闘をお祈りいたします。



長野市営陸上競技場での投てき練習に関する申し合わせ 平成24年9月1日

- (1)メイン競技場での投てき練習は、次の条件を満たした場合に、円盤投とやり投の練習が可能である。
- ・フィールド内が混雑していないこと。その判断は指定管理者の指示に従うこと。
 - ・顧問、指導者又は監視できる生徒が必ず付きそうこと。
 - ・投てきエリアをコーンとバー(又はロープ)で囲むこと。
- (2)補助競技場と投てき練習場での練習は、顧問、指導者又は監視できる生徒が必ず付きそい、投てきエリアをコーンとバー(又はロープ)で囲むこと。
- (長野市、指定管理者シンコースポーツ株式会社、北信地区陸上競技協会、長野市陸上競技協会)

いよいよ駅伝シーズンとなります 皆様のご支援・ご声援をお願い致します

- ☆11月6日(火)18時30分～ 長野県縦断駅伝 長野市チーム選手壮行会 東和田総合体育館会議室
- ☆11月3日(土)第23回 長野県中学駅伝(松本) ☆11月4日(日)第63・27回 長野県高校駅伝(大町)
- ☆11月4日(日)第44回 全日本大学駅伝(名古屋～伊勢) 信州大学出場
- ☆11月17日(土)・18日(日)第61回 長野県縦断駅伝
- ☆11月18日(日)第49回 北信越高校駅伝、第25回女子高校駅伝(富山)
- ☆11月18日(日)第6回 北信越中学駅伝(松本)
- ☆12月16日(日)第20回 全国中学駅伝(山口) ☆12月23日(日)第63・24回 全国高校駅伝(京都)

◆ 事務局からのご連絡・お願い ◆

- 1)浦野先生秩父宮章祝賀会 返信締切 11月15日(木)
日 時 平成24年12月8日(土)11時30分開会 場所 THE SAHOKUKAN HOTEL(旧 長野ホテル犀北館)
- 2)長野市陸協忘年会(県縦断駅伝祝勝・慰労会) 返信締切 11月15日(木)
日 時 平成24年11月26日(月)18時30分開会 場所 福建菜館 東口飯店

◆ 編集後記 ◆

日本陸連強化委員会混成競技部長本田先生には、お忙しい中、ご寄稿いただき感謝申し上げます。TVでは分からないロンドンオリンピックの一面に感激しました。来年度の混成競技会は、8万人とは行かなくても大勢の方による後押し「コール」が選手に届くよう準備したいと思います。今号も時間に追われました。ご協力頂いた皆様に感謝いたします。(理事長 内山了治)

今年の夏は、ロンドンオリンピックのお陰で、眠れない夜が続きました。日本チームでは、金メダル7個、銀メダル14個、銅メダル17個を獲得し、史上最多を記録しました。また、東京・銀座で行われた日本代表選手団のパレードには50万人もの大観衆が沿道に詰めかけ、元気のない日本に明るいニュースを提供してくれました。選手の最後まであきらめず、全力を尽くす姿勢には、驚愕するほどの執念さえ感じられました。陸上競技では、男子ハンマー投の室伏広治選手の銅メダル1つに終わってしまいましたが、メダリスト会見の中で室伏選手は、「疾風、勁草(けいそう)を知る(強い風が吹いてみて強い草がわかる、転じて困難に遭遇して初めて人の才能や人徳がわかるということ)」という言葉を信条にしているとのことでした。また、37歳となった今、早く若い世代が伸びてくるように私も力になりたいとコメントしています。

トラック競技も終盤に入ります。夏場のトレーニングの成果を試しながら自分の課題を洗い出して、来シーズンに向けた冬期練習への弾みとなるレースを期待します。(広報部長 田島康彦)

Track & Field
ATHLETIC UNIFORM

スクールスポーツウェア専門
しなのメイト株式会社

(本社) 〒389-0606
埴科郡坂城町大字上五明992-2
TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337
(新潟営業所) 〒950-0823
新潟市東区東中島2-18-41
TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216

THIS IS A CHALLENGE TO ME.